

授業科目 治療学演習Ⅰ

【担当教員名】 相馬 俊雄、亀尾 徹、佐藤 成登志、 椿 淳裕、松本 香好美		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (15)
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 運動器疾患に対する理学療法を実施するために、四肢・体幹の関節障害の病態・回復過程・治療手技（手段）について演習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 各種運動器疾患に対する治療方法を演習できる。 2. 運動器疾患に対する徒手の治療法を実施することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	急性期における下肢関節可動域運動			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
2	急性期における下肢筋力トレーニング			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
3	回復期における下肢関節可動域運動			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
4	回復期における下肢筋力トレーニング 1			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
5	回復期における下肢筋力トレーニング 2			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
6	回復期における運動療法			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
7	体幹（腰部・脊柱）運動器疾患の治療学 1			1・2	実習、担当：佐藤 成登志 他
8	体幹（腰部・脊柱）運動器疾患の治療学 2			1・2	実習、担当：佐藤 成登志 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		演習時に配布する			
【評価方法】 出席、授業態度、実技試験			【履修上の留意点】 Ｔシャツ、短パンを着用し、その上に白衣（ケーシー）を着用して、授業に臨むこと。		